講義名	経済学入門(人間社会学部)					授業形態	
担当教員	森脇　丈子	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ４時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	ECN100

主題と概要

わたしたちの生活は経済と深く結びついています。しかしそれらがどのように結びついているのかについては具体的に理解していないことが多いのも事実です。
例えば、私たちが購入する商品には、国内で生産されたもの、海外で生産して輸入されたもの、海外で生産された部品を使って国内で商品として仕上げられて国内で消費されるもの、あるいは、海外に輸出されるものなどがあります。また、商品の生産や販売や消費は常に安定的に行われるわけではありません。天候不良や流通の行き詰まり、海外での戦争や内乱なども社会に打撃を与えることがあります。
また、人工知能(AI)の発展は、私たちの雇用や生活をどのように変化させていくと考えられるでしょうか。この講義では、経済の動きとそれに影響を与える諸要因について、経済学の視点からの基礎的な知識を身につけていきます。自分の頭で社会の現状と問題点を把握する力を養っていきましょう。
経済ニュースや新聞記事が理解できるようなるため、経済学の基礎的な用語や社会の仕組みを学びましょう。

到達目標

１．経済の基礎的な用語を理解できるようになる。

２．経済の基礎的な仕組みを理解できるようになる。

３．初歩的な経済ニュースの内容を理解できるようになる。

４．国際関係をふまえた日本経済の動きについて理解し，自分の考えを持てるようになる。

提出課題

☆課題はありません。毎回の授業で、復習と予習を出します（提出の必要なし）。なお、毎回の予習と復習に取り組む受講生は発言得点が高く、かつ、単位修得率も高い傾向にあります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

☆授業開始時に、前回授業に関して出された質問や意見についてコメントをします。
☆授業開始時に、前回の授業の復習問題を提示します。手を挙げて発言し、各人の発言点を積み上げていってください。

評価の基準

１．「授業中の発言 ・態度」… 点数＝30点(1回の授業あたり２点×15回)
２．定期試験 … 点数：70点

上記の「1+2」の合計点で、評価をします。
☆ 合計60点以上が、合格です。59点以下は、不合格です。

履修にあたっての注意・助言他

☆　目頃から，新聞・ニュース・雑誌等で社会の出来事、企業活動、消費者動向や消費者行動などに関する情報を収集しておいてください。
☆　第１回目の授業に必ず出席し，授業の進め方、課題の提出方法、評価基準についてしっかりと理解したうえで、受講してください。
☆正当な理由のある欠席については、欠席後10日以内に連絡をしてください。この期間を過ぎた申し出は受け付けません。
☆授業中の私語や教室への勝手な出入り、スマホ等の電子機器の利用を禁止します。授業態度の悪い人には、退室を求めることがあります。

関連科目として，次の講義の受講を勧めます。「生活構造論」「消費者問題論」「NPO論」「アミューズメント事業論」

教科書

．「使用しない」．				

参考図書

．武器としての労働法．	佐々木亮	KADOKAWA	1650	9784046049728
．コンビニエンスストアと日本の流通．	加賀美太記・佐久間英俊・森脇丈子	文理閣	2420	9784892599491
．ルポ　食が壊れる　私たちは何を食べさせられるのか？．	堤未果	文藝春秋	990	4166613855

その他

☆　授業で使用するプリントは、教室で配布します。
☆　〈その他の参考文献〉
・河合雅司(2021)『世界100年カレンダー　少子高齢化する地球でこれから起きること』、朝日新書
・内田樹、藤山浩、宇根豊、平川克美(2018)『「農業を株式会社化する」という無理　これからの農業論』、家の光協会
・ 塚崎公義(2015)『なんだ，そうなのか！経済入門』，日本経済新聞出版社，1,500円+税。
・ダン・アリエリー(2013)『予想通りに不合理 行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ」』、早川書房
・小林美希(2022)『年収443万円 安すぎる国の絶望的な生活』、講談社
・山田正彦(2019)『売り渡される食の安全』、角川新書

☆　その他の参考文献は、授業中に適宜紹介します。

授業計画

１．ガイダンス、経済学は何を対象としているか
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
２．日本の人口構造(1)―人口構造の変化、都市への人口集中、少子高齢化
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
３．日本の人口構造(2)―世帯構造、孤独死、世代間の支え合い
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
４．家計消費と貯蓄―平均所得，金融資産の平均額，所得の格差
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
５．格差問題―貧困率、子どもの貧困、格差
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
６．雇用と失業―労働力人口，失業率，労働力不足、女性の就業率，増加する非正規雇用
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
７．ロボット、AI―ロボットの活用と供給、AIと雇用
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
８．企業の姿―事務所の状況，国際化する日本企業，日本的経営の特徴
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
９．貿易―貿易収支の推移，輸出入品目の変化、主な貿易相手国，日本の国際収支
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
10．エネルギー問題―日本のエネルギー事情，エネルギー自給率，電力需要
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
11．食料問題―国内の食料消費，食料自給率、農業、食糧安全保障
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
12．物価、円高・円安
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
13．地価、需要と供給
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
14．雇用と生活
※毎回の授業の配布資料の最後に、予習と復習を提示します。次回の授業までにそれぞれ2時間程度をかけて準備してください。
15．まとめと定期試験についての説明

★戦後の日本経済(復興期、高度経済成長期)については、「生活構造論」の授業で扱います。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

①社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことがらの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。②社会の問題や人びとの考え方を捉えることができ、社会共創・産学連携、インターンシップなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身につけ、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創造することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

☆対面の授業中に多くの質問を出します。受講者は、自分の意見を述べてください。発言による得点(30点満点)を毎回の授業で上積みしていってください。

実務経験の有無及び活用

備考

☆大学の掲示にしたがい、感染予防に努めてください。
☆第1回目の授業に必ず出席し、授業方法、成績評価方法について、しっかりと理解してください。
☆授業ではメモをとって、理解を深めてください(スマホによるPIT等の撮影は禁止します)。
☆出席者に、プリント、新聞記事を適宜配布します。就職活動等による欠席者は、翌週の授業開始前に前回プリントを受け取ってください。
☆正当な理由のある欠席については、欠席後10日以内に連絡をしてください。この期間を過ぎた申し出は受け付けません。
☆授業中の私語や教室への勝手な出入り、スマホ等の電子機器の利用を禁止します。授業態度の悪い人には、退室を求めることがあります。